



開館25周年記念・「町民の日」協賛 写真パネル展

金山博物館のまわりの興味ある自然

金や金山のことを理解する手始めに身近な自然をみつめてみました・・・

会期：令和4(2022)年 9月5日(月)～10月10日(月・祝)

主催：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

開館25周年記念・町民の日協賛 写真パネル展開催にあたって

湯之奥金山博物館は 平成9年に、身延町湯之奥に所在する戦国期に成立した金山遺跡の歴史的価値について展示公開することを目的に開館いたしました。今年で開館25周年を迎えます。当初、博物館は旧下部町によって開設されましたが、平成16年9月13日の旧3町合併により新制・身延町が誕生し、身延町立の博物館として現在にいたっています。

当館のまわりには、湯之奥金山のある天子山系毛無山(1945.5m)の南側に源を発する富士川の一支流の下部川に沿って、下部リバーサイドパーク(町営)が設けられているほか、南側に山を背負っているという周辺環境もあって、豊かで興味深い自然を身近に見て、感じとることのできるものとなっています。

さて今回、湯之奥金山をとりまく地域の歴史をよりよく知るために、まず近場の自然に目を向けることから始めようとの考えから、当館館長が6年ほどの間に撮りためた写真データの中からいくつかをピックアップしてご紹介しようとするものです。

また町制施行記念日の9月13日を中心に、身延町民の皆さまによる館の利用促進を期することも併せてのイベントもなっておりますので、この機会にぜひ当館にお出かけいただき、まわりの自然にも親しんでいただくことができましたら幸甚に存じます。



令和4(2022)年9月 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

 220419 ヒトリシズカ	 220405 ヤマブキ	 211009 ナツアカネ	 220507 ベニシジミ	 220512 ナナホシテントウ	 210303 アジサイの躰吹き	 711015 石に付いた藻を 食べるサカナ	 710508 カワザクラの まだ若い実	 220226 ホオシロ	 220429 オダマキ	 710779 オシオカラトンボ (♂)	 211108 ムラサキシキブ	 211025 川面にできた 雨の波紋	 220328 カメノコテントウ	 220415 ヒトリシズカ	 700810 ムクゲの花と トラマルハナバチ	 220311 ツグミ	 700917 ミスヒキの花と イトトンボの仲間
 201012 ハナタテ	 201005 ママコノシリヌグイ	 210927 ハラヒロカマキリ	 220422 ツツジ	 220417 ニホンカワトンボ	 210311 ニホンザカの足跡	 220504 マルバスミレ	 710807 サトクダマキモドキ (?)の幼虫	 720905 ミヤマアカネ(♀) の尻上げ	 220812 シモツケ	 210925 ハラヒロカマキリ	 210514 コウソリナ	 211025 ノコンギク	 170915 ハゼラン	 201005 ママコノシリヌグイ とアリ	 210702 ミスツマイマイ	 710705 ハナイカガ の黒した実	 710813 エノコガサの 花穂とアリ
 220502 ツツジ	 210528 ミヤマカワトンボ (♂)	 210430 スミレ (ホコバスミレか)	 210605 キハギ	 210301 オオイヌノフグリ	 220326 チョウツサクラ	 210828 ミヤマアカネ (♀)の尻上げ	 200907 サワガニ	 200712 ムラサキシジミ	 211112 油揚げを啜えたトビ と横取り狙うカラス	 210628 バッタの仲間 の幼虫	 210525 ソメイヨシノの実	 220131 エナガ	 200626 アジサイの花	 220409 キョウリクサ	 220523 モンキアゲハ	 211017 川風を捉える ススキの穂	 220820 ミヤマアカネ (♀)